記 入 例

請求日　令和 9 年 1 月 15 日

（宛先）小野市長

施設等利用費請求書（償還払い用）

認可外保育施設・一時預かり事業・病児保育・子育て援助活動支援事業の施設等利用費

【令和 8 年 10 月～令和 8 年 12 月分請求用】

償還払いは、四半期ごとにまとめて行うため、基本的には３カ月分を記入してください。

私は、下記のとおり請求しますので、指定する償還払いの振込先口座に振り込んでください。

なお、施設等利用費の審査にあたり、次の事項に同意します。

1．申請者と認定子どもが、小野市内に居住していることを小野市が住民基本台帳で確認すること。

2．実際に利用していることを小野市が対象施設に確認すること。

3．利用料の支払い状況を小野市が対象施設に確認すること。

4．課税状況を小野市が確認すること。

押印をお願いします。（みとめ印で結構です。）

1．施設等利用給付認定保護者(請求者)

フリガナ	オノ　タロウ		認定子どもとの続柄	父	生年月日　昭和・(平成) 3 年 10 月 1 日
氏名	小野　太郎　小野 印 ※償還払いの場合の振込先は申請者名義の口座です				現住所　〒　－ 小野市 電話：　－　－

0以降の数字を記入してください。

2．認定子ども(認定子どもごとに申請して下さい)

法第30条の4の認定種別	☑ 第2号 ☐ 第3号	認定番号	1
生年月日	令和 4 年 9 月 1 日	フリガナ	オノ　コタロウ
令和 8 年 10 月 1 日～令和 8 年 12 月 31 日の間の住所 ☑ 現住所のとおり ☐ 転入した ☐ 転出した		氏名	小野　小太郎
上記で転入または転出に該当した場合は転入・転出日を記入		令和　年　月　日	

3．償還払いの振込先を記入して下さい(※1,2)

金融機関名				預金種目	☑ 普通　☐ 当座						
○○○	(銀行)・信用金庫 農協・信用組合	△△△	(支店) 出張所	口座番号	1	2	3	4	5	6	7
				口座名義(カタカナ)	オノ　タロウ						

※1 振込先を確認できる通帳等の写しを提出してください。

※2 申請者と口座名義が異なる振込先を指定する場合は、本市指定の委任状を提出してください。

4．利用した認可外保育施設・一時預かり事業・病児保育・子育て援助活動支援事業を記入（複数記入可）

①	フリガナ	マルホイクエン	所在地	〒 675 － 0000 小野市○○町○○ 電話： 0794 － 00 － 0000
	施設・事業名	○○保育園・ 認可外保育施設		
	契約している利用料※3	☑ 月額 30,000 円 ☐ 日額　円 ☐ 時間額　円		
②	フリガナ	シカクホイクエン	所在地	〒 673 － 0000 加東市□□町□□ 電話： 0795 － 00 － 0000
	施設・事業名	□□保育園・ 一時預かり事業		
	契約している利用料※3	☐ 月額　円 ☑ 日額 2,500 円 ☐ 時間額　円		
③	フリガナ	サンカクビョウイン	所在地	〒 675 － 0000 小野市△△町△△ 電話： 0794 － 00 － 0000
	施設・事業名	△△病院・ 病児保育事業		
	契約している利用料※3	☐ 月額　円 ☑ 日額 2,000 円 ☐ 時間額　円		

<裏面も記入して下さい>

④	フリガナ	ニジュウマル	所在地	〒 675 － 0000
	施設・事業名	◎◎（協力会員氏名）・子育て援助活動支援事業		小野市◎◎町◎◎ 電話： － －
	契約している利用料※3	☐ 月額 円 ☐ 日額		円 ☑ 時間額 600 円
⑤	フリガナ		所在地	
	施設・事業名			
	契約している利用料※3	☐ 月額 円 ☐ 日額		円 ☐ 時間額 円
⑥	フリガナ		所在地	〒 －
	施設・事業名			電話： － －
	契約している利用料※3	☐ 月額 円 ☐ 日額		円 ☐ 時間額 円

利用施設名（協力会員氏名）及び事業名を記入してください。

利用施設の所在地（協力会員の住所）及び連絡先を記入してください。

※①～⑥に書き切れない数の施設・事業を利用した場合は、余白等に記載して下さい。

※3 該当箇所にレを記入し金額を記入して下さい。利用料の設定が月単位を超える（四半期、前期・後期等）場合は、当該利用料を当該期間の月数で除して、当該利用料の月額相当分を算定し、月額欄の☐にレを記入し、算定した月額相当分を記入して下さい。

5．認可外保育施設・一時預かり事業・病児保育・子育て援助活動支援事業の施設等利用費の償還払い請求の内訳を記入

利用年月日	認可外保育施設に支払った月額利用料（保育料）(a) ※4 ※5	一時預かり事業・病児保育・子育て援助活動支援事業に支払った月額合計利用料 (b) ※4	支払額合計 (c=a+b)	月額上限額 (d)	請求額 (cとdを比較して小さい方)
令和 8 年 10 月	42,000 円	10,000 円	52,000 円	40,300 円	40,300 円
令和 8 年 11 月	42,000 円	8,000 円	50,000 円	40,300 円	40,300 円
令和 8 年 12 月	42,000 円	6,800 円	48,800 円	40,300 円	40,300 円

※4 利用した施設等ごとに、「特定子ども・子育て支援の提供に係る領収書」及び「特定子ども・子育て支援提供証明書」を添付してください。
また、子育て援助活動支援事業を利用した場合は、「特定子ども・子育て支援の提供に係る領収書」及び「特定子ども・子育て支援提供証明書」に換えて、援助を行う会員が発行した「活動報告書」を添付してください。

※5 利用料の設定が月単位を超える（四半期、前期・後期など）場合は、当該利用料を当該期間の月数で除して、利用料の月額相当分を算定して下さい。（小数点以下、切り捨て）

※6 月額上限額は、施設等利用給付第2号認定の場合は月額40,300円、第3号認定の場合は45,700円です。
月途中で認定期間が終了する又は開始される場合か、市町村間の転出入の場合、月額限度額は次の通りとなります。
・月途中で認定期間が終了する場合、
　または別の市町村へ転出する場合の限度額：40,300(45,700)円× 転出日までの日数÷その月の日数
・月途中で認定期間が開始される場合、
　または別の市町村から転入した場合の限度額：40,300(45,700)円× 転入先での認定日からの日数÷その月の日数